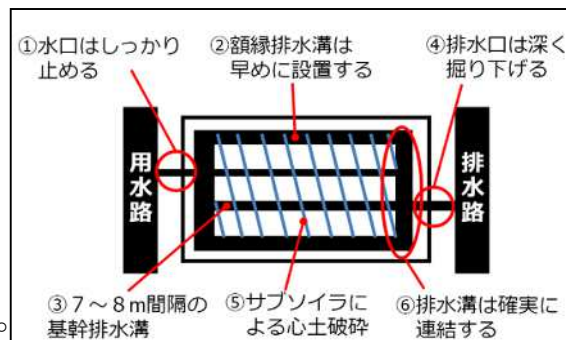


乾いた圃場で耕起・播種しましょう！

1 早めの排水対策

- ・ 水稻早生品種あと圃場を積極的に活用し、稲刈り後は速やかに額縁排水溝や基幹排水溝を設置し、透水性が悪い圃場では心土破砕（サブソイラ）を行う。
- ・ 水吐板や暗渠のキャップをはずしてあるか、確認する。
- ・ 排水口は深く掘り下げ、排水溝と確実に連結する。



2 土づくり

- ・ 土壌 pH6.0~6.5 を目標に耕起前に「土力パワー」（石灰質資材）を 100~150 kg/10a 散布する。
- ・ 「発酵けいふん」 100~150 kg/10a の施用により有機物や加里等の不足養分を補給する。

3 耕起・砕土、播種作業

- ・ 10月上旬までに播種を終えられるように作業計画を立てる。
- ・ 乾いた圃場から順に、耕起・砕土・播種・作溝の一連の作業を一日で実施する。耕起は低速で丁寧に行い、砕土率を高める。
- ・ 播種量は播種時期に応じて調整する。
- ・ 播種深度は 3 cm 程度とする。
- ・ 播種機にサイドリッジを付け、排水を促す。
- ・ 播種作業の後は、必ず基幹排水溝や額縁排水溝の手直しを行い、排水口との連結を再確認する。

<播種量>

播種時期	目標苗立数 (本/㎡)	播種量 (kg/10a)
		ドリル播
9月26日~	140	6.0
10月上旬	150	6.5
10月中旬	200	8.5

<施肥量>

肥料名	施用量の目安 (kg/10a)
<肥効調節> エコ大麦44号	40~45

4 雑草対策

- ・ 除草剤の効果を高めるため、砕土率を高める。

散布時期	除草剤名	適用雑草	10a当り散布量	散布方法
播種後~麦2葉期 ※	リベレーターG	1年生雑草 (カラスノエンドウ、 カズノコグサ)	4~5kg	全面土壌散布
播種後~麦3葉期 ※	リベレーターフロアブル		60~80ml (水100ℓに希釈)	雑草茎葉散布または、 全面土壌散布
大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期) 収穫45日前まで	エコパートフロアブル	1年生広葉雑草	50~100ml (水100ℓに希釈)	雑草茎葉散布または、 全面土壌散布

※カラスノエンドウが多い場合、

「リベレーターG」は播種2週間後、「リベレーターフロアブル」は播種3週間後に散布する。

8/20~10/20 秋の農作業安全運動実施中

【お問い合わせ先】

JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478

JAいみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>